

西沢ともこのお約束

●働きながら子育て・介護をされている人を応援します！

在宅介護をされている方の介護軽減に向けた取り組みを推進します。働くお母さんの為に病児・病後児保育を充実させ、健康教育の拡充と心の健康づくりをサポートします。

子育ての身近な悩み事から、発達障害、ひとり親、子どもの貧困、ヤングケアラーなど、多様な課題に全力で向き合います。



●高齢者が自分らしく豊かに生活できる環境を整えます！

公共交通の充実で行きたいところへ気軽に出かけられる、不便を感じない暮らしの実現に動きます。

地域の特性や実情にあった医療・介護・福祉の連携を促進し、地域包括ケアシステムの構築を進めます。



●誰もが安心して暮らせる上越市に！

介護予防事業の周知活動と健康診断受診率向上に取り組み、健康増進を応援します。

危険箇所の改善を要望し、防災・減災に努め安全・安心を確保して参ります。

医療、介護サービス提供を充実させ、どんな小さな声も聞き逃さず、声をカタチにできる上越市に！



西沢ともこ後援会に加入します。

お名前

ご住所

電話番号

皆さまの個人情報は厳重に管理し「西沢ともこ後援会」活動目的以外には利用しません。

西沢ともこ通信

第1号

TOMOKO NISHIZAWA COMMUNICATION

発行者/西沢智子 住所/上越市中田原80-17 電話番号/025-523-5216



西 ともこ 沢

にし

ざわ

一人一人の
声を大切に！
そしてカタチに！

ごあいさつ

私は医療法人に介護福祉士として21年間勤めて参りました。シングルマザーの私にとって、子育てをしながらの仕事は大変ではありましたが、ひとり親支援や周りのサポートがあり、今の私と娘があります。

これからは、地元上越に恩返しので「1人1人の声を大切に！」みんなが心豊かに生活できるよう走り抜いて参ります。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

公明党 上越南支部 副支部長

1972年7月2日生まれ 上越市高田出身 51歳

医療福祉法人高田西城病院に21年間勤務

【出身校】南本町小学校 城西中学校 関根学園高等学校

【資格】介護福祉士

【家族】娘、父、母、祖父、祖母

【趣味】映画鑑賞



1

道路損傷通報システムの運用開始

道路の穴などの損傷を発見した際、上越市公式 LINE アカウントから写真や位置情報を送信して通報することができるようになりました。



2

除雪オペレーター人材不足解消に向けた取り組み

除雪作業はライフラインに直結する重要な仕事です。除雪作業の人員不足解消のため、資格受講料助成や市所有の車両全てにカメラを設置しGPSをつけて、1人オペ除雪車を実現するなど、除雪オペレーター確保にむけた取り組みを推進しました。



3

ICT (情報技術) 関連事業のサテライトオフィスを推進

若者雇用の観点から上越妙高駅周辺にICT関連企業の集積を推進しました。



5

3歳児検診に屈折検査器 (スポットビジョンスクリーナー) を導入

子どもの弱視等を早期発見できるのが屈折検査器です。

今までの家庭での検査では精度の限界があり、近視・乱視などのリスクを見逃してしまう恐れがありました。



公明党上越市議団の

おもな

実績

4

軟骨伝導イヤホンを福祉課窓口にて試験導入

来庁した高齢者や難聴者の会話をサポートする目的で導入しました。

耳の軟骨を振動させることで音を聞く音響機器で、耳の聞こえ具合に合わせて使用できることが特徴です。

情報のバリアフリー化が図れ、今後は台数や設置場所の増設を検討していきます。

6

手話言語及びコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例を制定

『手話』は一つの『ことば』であることを理解し、コミュニケーション手段として使用していることを知って、差別することなく、お互いを認め合う目的の条例です。



市長の記者会見時での手話通訳

まだまだあります!

上越市議団の実績

- 検査費用が約5,000円～10,000円かかる、新生児聴覚検査(入院中または外来で初めて実施する検査)に最大5,000円の助成金
- 上越市への転入者増加・支援策として、民泊サービスや先輩移住者が移住体験を発信する取り組みを推進
- 「空き家バンク」の開設推進
- 地元産木材を公共建築物へ積極的に活用
- 休耕田へヨモギや薬用作物を栽培推進
- 上越産日本酒の海外輸出を推進
- 市内企業の働き方改革を推進
- 市民課窓口の「おくやみコーナー」開設や「おくやみ手続きガイド」の作成
- 特別支援教育支援員(障がいのある児童に対し生活動作・学習のサポートを行う支援員)を配置しました。
- 子宮頸がんワクチン接種の無料化

生活防衛策

減税・給付

所得税、住民税の納税者本人と扶養家族に1人**4万円**の定額減税
住民税非課税世帯に**7万円**の給付減税や給付が十分に受けられない“はざま”の所得層は「丁寧に対応」

光熱・燃油費の負担軽減 2024年4月末まで継続

電気代	1キロワット時 3.5円 補助(家庭) 1.8円 補助(企業)
都市ガス代	1立方メートル 15円 補助
ガソリン・灯油など燃油代	レギュラーガソリン全国平均価格を1リットル 175円 程度に抑制

年間1世帯あたり平均**4.6万円**程度負担減

重点支援地方交付金の増額

LPガス代支援、学校給食費軽減など自治体の物価高対策の財源確保

総合経済対策

物価高対策で自治体向け交付金が増額 重点支援地方交付金の活用事例

生活者支援

低所得者支援	住民税非課税世帯に 7万円 給付
子育て支援	学校給食費などの負担軽減
消費下支え	プレミアム付き商品券や、LPガス使用世帯への支援
省エネ	省エネ性能の高い家電への買い替え費を補助

事業者支援

福祉医療	医療や介護施設などの光熱費や食料品価格の高騰分を支援
農林水産	飼料高騰などの影響を受ける酪農経営の負担軽減
中小企業	特別高圧電力を利用する中小企業に補助
地域交通	地域公共交通・物流事業者のエネルギー高騰に対する支援

公明党の実績